

視聴覚いしかわ

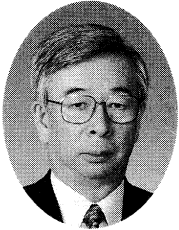
Vol.1 創刊号

発行／石川県視聴覚教育協議会
編集／石川県立生涯学習センター学習情報課

平成17年3月11日 発行

金沢市広坂2丁目1-1 石川県広坂庁舎1号館 TEL 076-223-9571 FAX 076-223-9585

〈創刊号に寄せて〉



視聴覚教育の展望

石川県視聴覚教育協議会

会長 新村 健了

(石川県立生涯学習センター館長)

石川県視聴覚教育協議会会報『視聴覚いしかわ』の創刊にあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

近年のICT（情報・コミュニケーション技術）の進展は、実にめざましく、それに伴い「教育の情報化」が重要視されています。昨年11月に東京で開催された第8回視聴覚教育総合全国大会でも、「ネットワーク社会における新たな視聴覚教育の展開を探ろうーメディアを生かした学びとヒューマンコミュニケーションー」という大会テーマが掲げられ、教育・学習に関する方法や内容を改善・充実するために、視聴覚メディアを主体的・積極的に活用し、より高い教育効果を上げることが提言されました。

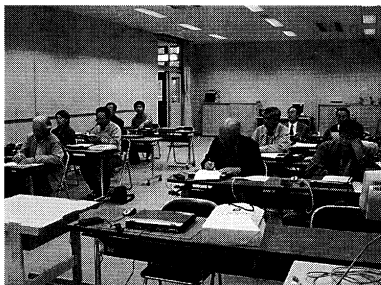
「いつでも・どこでも・誰でも」という含意の“ユビキタス”的社會における生涯学習では、学習ニーズの高度化・多様化に伴い情報機器利用のネットワークは不可欠のものです。今後重視されることは、上記大会テーマに関連して、学習を教室等での一方的・受身的な「閉じた学び」から、積極的に他と発表・提案を伝え合う「開けた学び」に進展させるために、情報機器をヒューマンコミュニケーション・ツールとして活用し、「深い学び」を実践することなのです。リアリティに富む視聴覚情報（教材）の活用能力をコミュニケーションの力として獲得することが、生涯“確かな学力”を持ち続ける条件と言えるのです。

当協議会では、本会報が県・各市町の情報交換・相互交流の一助となり、互いの連携を強めることができればこの上なく幸甚に存じます。そして、教育の情報化に資するべく、本県視聴覚教育の質的向上が図れるよう努力を重ねたいと考えております。

映像メディア活用講習会

ビデオ編集教室開催!

かほく市教育委員会教育部生涯学習課



平成16年3月1日、いわゆる「平成の大合併」第一号として旧高松町・七塚町・宇ノ気町が合併して『かほく市』が誕生し、生涯学習課としては、社会教育・生涯学習推進の両面で住民に対しいろいろな事業を展開したり、発表の場を提供したりしているところでもあります。

今回、ビデオ編集教室を開催したのは、各家庭で運動会や家族旅行などでビデオ撮りしたテープを、そのままの状態で放置しているケースが多いとの声をお聞きしたのがきっかけで、撮影ノウハウとパソコンを使った編集をメニューとしました。

講師には、石川県立生涯学習センタービデオクラブの的場孝芳先生・北川嘉一先生をお願いして、かほく市七塚生涯学習センターを会場に、13名の受講者が、最初にカメラ操作の基礎・正しい使い方を学び、参加者自身で撮影した作品を見ながら先生から細かな指示を受け、編集コースではパソコンで専用ソフトを使っての文字や音声入力を学習し、それぞれのオリジナリティー溢れる作品に仕上げていました。

教室終了後は参加者の希望で、『ビデオサークル』を立ち上げて技術の向上を目指し、ボランティア活動もしたいとの前向きな意見も聞かれ、今後の活躍に期待したいと思っています。

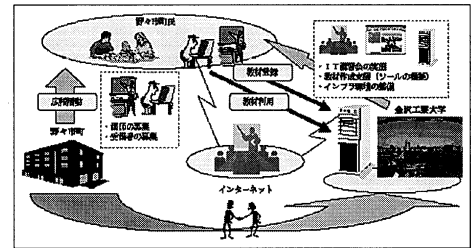
スポットライトシティー&タウン

野々市町における金沢工業大学との連携によるまちづくり

野々市町教育委員会 生涯学習課

教育ユニバーサルプランの策定

野々市町は、昨年6月に歴史・伝統を生かした住民参画による教育・文化の香り高いまちづくりをめざして、「教育ユニバーサルプラン」を策定しました。このプランでは、基本理念を『学びと出会い夢かなうまち-マイ・キャンパス・ののいち-』とし、四つの基本的視点の一つに『大学と連携した学びの「キャンパス・タウン」づくり』を定め、住民が「いつでも、どこでも」学習できる施策を明らかにしました。



インターネット町民塾イメージ図

インターネット町民塾

金沢工業大学は、平成14年10月から、野々市町と『インターネット町民塾（以下、「町民塾」という）』を共同開発・運営してきました。この「町民塾」は、講師としてまた受講者としていつでも生涯学習に参加し、インターネットの中で、だれでも気軽に「学ぶ喜び」「教える楽しさ」が実感できるものです。野々市町民以外の方でも参加できます。



学生のまちづくりへの参画

金沢工業大学は、本年度から「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（文科省補助事業）」を実施し、大学も含めた地域全体の学習力、教育力の向上をめざしています。本年度末には、学生の課外学習の一環として、町の生涯学習事業である「コミュニティ・カレッジ」の講座をデジタル・メディアによって記録・加工編集し、「町民塾」の教材コンテンツとして公開します。こうしたインターネットを活用した生涯学習事業の展開と大学の教育資源の公開は、町の人材育成を大きく進展させるものと期待できます。

また、昨年11月には、「金沢工業大学と野々市町との連携推進に関する協定」を締結し、人的・知的資源の相互交流と有効利用を今以上に促進することとなりました。これにより、学生は町を学び実践的な学習を行うことができ、町は学生の研究成果を取り入れたまちづくりを行うことができます。

大学連携の今後の展開

このように、「町民塾」は、大学と町の教育資源を結び付け質の高い地域文化を生み出し、学生と町の中高年代の交流により人材を活性化し、「生涯学習社会」を構築するコンテンツとなります。

今後は、地元金沢工業大学、さらには町内の県立大学、放送大学と金沢大学などとの連携も強め、「マイ・キャンパス・ののいち」の実現をめざしていきます。

第8回視聴覚教育総合全国大会・東京大会に参加して

県立生涯学習センター 副館長 湊 義 昌

去年11月29・30日の両日にわたり、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて開催された標記大会に出席いたしました。

冒頭、主催者を代表して井内慶次郎大会会長より、本大会が過去7回の成果をもとに、次世代へ引き継げるメディアを生かした学びとヒューマンコミュニケーションを追求してほしいとの挨拶がありました。

続いて、実行委員長、来賓の挨拶・祝辞ののち表彰が行われ、石川県から前県立生涯学習センター学習情報課長 西田 稔氏が表彰されました。

記念講演は、「いま、教育を変えるには」と題して元文部科学大臣 遠山敦子氏より、21世紀はじめの教育改革の理念や、確かな学力をめぐる問題、教育の情報化と視聴覚教育の果たすべき役割等について話され、最後に今最も問題とされている心の教育の重要性について強く訴えられていました。

その後、プレゼンテーションとパネルディスカッションが行われ、翌日には12分科会が行われました。

全般としての印象は、来るユビキタス社会の到来に向けて、デジタル機器及び情報システムの進化に感銘を受けた大会でありました。

平成16年度石川県視聴覚教育協議会・総会報告

平成16年6月9日(水)、石川県立生涯学習センターにて平成16年度理事会及び総会が行われた。(出席市町村22、委任状提出市町村16)

総会では議長に輪島市立図書館長・北間美登里氏を選出し、議案審議を行った。

* 議案審議結果

平成15年度事業・決算報告ならびに16年度事業・予算について可決承認された。また、市町村合併にともない、平成17年度の市町の負担金については下記のように可決された。

◇市16,000円(4,000円増額)、町8,000円(2,000円増額)ただし、平成17年4月1日より施行する。

なお、総会終了後、記念講演として「石川県生涯学習振興ビジョン(〈新〉いしかわ学びピア構想)について」と題し、ビジョン策定研究委員長でもあった金沢大学助教授 浅野秀重先生よりビジョンのねらいや取り組みへの課題等について講演をいただいた。

平成16年度 役員氏名一覧

会 長	新村 健了	生涯学習センター館長	理 事	森 繁喜	志賀町
副 会 長	遠田 敏博	かほく市教育長	〃	開敷 洋司	能登町=旧能都町
〃	竹内 勇	前吉野谷村教育長	〃	瀧野 勝利	県教委・生涯学習課
参 与	谷内 厚子	県教委・生涯学習課長	監 事	勝田 秀一	羽咋市
理 事	澤田 憲司	白山市=旧松任市	〃	宮田 敏英	能美市=旧根上町
〃	北間美登里	輪島市	事 務 局 長	松尾 雄二	生学セ・学習情報課長
〃	東 純一	川北町	事 務 局 員	中野 豊	生学セ・学習情報課
〃	田中 敏	白山市=旧白峰村	局	〃	三木 則子
					〃

平成16年度 事業報告

1 情報技術活用研修会

	研 修 会 名	開 催 日	場 所	参加人数
志雄町	初心者・基礎コース・パソコンにふれよう	10月13日(水)・14日(木)・15日(金)	志雄町生涯学習センター	12名
押水町	夏期コース(ワード)	8月2日(月)・4日(水)・6日(金)	押水町民センターアステラス	17名
	冬期コース(ワード)	11月8日(月)・9日(火)・10日(水)	押水町民センターアステラス	10名
吉野谷村	プレゼンテーションの基本(パワーポイント基礎)	10月4日(月)・12日(火)・13日(水)・19日(火)・20日(水)・22日(金)	吉野谷村教育委員会	17名
	プレゼンテーションの応用(パワーポイント応用)	11月9日(火)・11日(木)・16日(火)・19日(金)	〃	20名
輪島市	パソコン講座(ホームページ作成)	1月23日(日)・25日(火)	輪島市立図書館	11名

2 映像メディア活用講習会「ビデオ編集教室」

かほく市 場所：かほく市七塚生涯学習センター

「撮 影」10月26日(火)・11月2日(火) 13名参加

「編集・基礎」11月9日(火)・16日(火) 11名参加

「編集・応用」11月24日(火)・30日(火) 9名参加

3 視聴覚教育指導者講習会「現代的課題対応講座」

(第1回)「パワーポイントを使ってのプレゼンテーション」(パワーポイント入門)

3月2日(水)・3日(木) 19名参加 場所：石川県立生涯学習センター

(第2回) 演題：「花開くハイテク映像とテクノロジー」(いしかわビデオ作品コンクール発表会記念講演)

平成17年3月11日(金) 場所：石川県立生涯学習センター

講師：金沢学院大学講師 鈴木厚志先生

平成16年度(第35回)いしかわビデオ作品コンクール

「石川映像作品コンクール」として長年親しまれてきた作品コンクールは、近年応募本数の減少が見られたことから、「いしかわビデオ作品コンクール」として、新たな企画内容で広く県民に呼びかけ実施した。

応募期間は平成16年11月1日(月)～平成17年2月18日(金)までとし、①学校教育・社会教育部門と新たに②生徒・学生・一般部門を加えた二部門で募集した。

なお、コンクールは石川県教育委員会との共催とし、また、石川県小・中学校視聴覚教育協議会、石川県高等学校視聴覚教育研究会、石川県社会教育協会、石川県公民館連合会の後援を得て行った。

応募は、①学校教育・社会教育部門7点、②生徒・学生・一般部門20点の27作品で例年の3倍以上の応募数であった。なお、2月24日(金)、県立生涯学習センターで審査を行った。

審査委員

審査委員長	鈴木 厚志	金沢学院大学講師	委 員	瀧野 勝利	県教委・生涯学習課
委 員	勝田 敏夫	メディアアドバイザー	委 員	新村 健了	県立生涯学習センター館長

審査結果

学校教育・社会教育部門		
最優秀賞	弥陀ヶ原の詩	(金沢市) 的場孝芳
優秀賞	『KAGAまつり考』ほうらい祭り	(能美市) 宿谷昭之助
奨励賞	ほうらい祭り	(金沢市) 小屋忠男
〃	いっばいっばいみつけた ー農園からのプレゼントー	(七尾市) 粟津さおり (七尾市) 橋本真里子
〃	ふるさと探訪加賀鳶はしご作り	(金沢市) 倉山幸雄
努力賞	『開園100周年』市立工業高	(金沢市) 中山稔
〃	七商カウントダウン	県立七尾商業高32H課題研究班

生徒・学生・一般部門		
最優秀賞	命の連鎖	(金沢市) 高島誉志夫
優秀賞	温暖化異変	(かほく市) 北川嘉一
奨励賞	ママさん運転士さんと子供たち	(金沢市) 小倉健治
		(金沢市) 坂野三郎 (金沢市) 小倉豊藤
〃	栄枯盛衰世の習いと云うけどさ	(金沢市) 前田信一
〃	能洲の一隅を照らす	(七尾市) 酒元昭二
努力賞	兼六園の彩り	(金沢市) 谷屋勘三
〃	消える能登鉄道哀愁の旅路	(宝達志水町) 竹森誠三郎
〃	我が家の四季	(金沢市) 森本重雄
〃	金沢極上の味	(金沢市) 小林陽治
〃	海に灯りを	(金沢市) 小林恵子
〃	浅野川を守っている人達がいる	(金沢市) 下沢好範
〃	医王山と三文豪	県立医王養護高等部3年生
〃	「学校紹介」県立津幡高校	(津幡町) 中西祐子
審査員特別賞	冬海物語	(白山市) 大桑盛雄

審査講評

審査項目は、企画構成、撮影技術、録音技術、社会性・教材性、美術・表現性の5点で審査を行いました。

作品は、郷土への理解を深め励みとなる作品や、地域や学校の活動を紹介した豊かな作品が多く出品され、どの作品も優秀つけがたい作品ばかりでした。ただ一言申し上げるとすれば、企画構成にもう一工夫欲しい作品も見受けられましたが、今後に期待いたします。

(審査委員長 鈴木 厚志)

生涯学習情報センターの移転 ……県立生涯学習センターからのお知らせ……

県広坂庁舎1号館の1階に開設されていた「生涯学習情報センター」は、県若者しごと情報館・ジョブカフェ石川の拡張に伴い、同館2階の展示ロビーに移設して平成17年2月25日(金)にリニューアルオープンしました。

入口に受付コーナーを配置し、新たに学習相談コーナーを設けてご利用の皆様の便宜が一層図られることとなりました。また、部屋の3分の1は展示コーナーとして従来の「ふるさと学びコーナー」展示に活用されますので、引き続きのご高覧をお待ちしております。

「生涯学習情報センター」の視聴覚ライブラリーでは、約2,000本の16ミリ映画フィルム、約5,000本のビデオテープ、約1,000本のCDを保有し、無料で貸出しをしています。また、エル・ネット(教育情報衛星通信ネット)で配信される全国の国公立大学公開講座“オープンカレッジ”を毎週収録し、そのビデオ貸出しも行っています。併せてご利用下さい。

今後ともより一層内容の充実を図りたいと考えておりますので、多数のご来室をお待ちしております。



リニューアルした生涯学習情報センター

夢・回マン 「ビデオづくりと私」



石川県立生涯学習センター・ビデオクラブ(SVC) 森本 重雄

ビデオづくりを始めて7年余り、今や生活の大部分を占めるようになりました。

毎月1回の例会では、会員の映像作品が発表され、意見交換が行われます。先輩の素晴らしい作品、迫力のある映像に溶け込むひと時、これがSVCクラブに引きつけられる所似でもありましょう。

例会には必ず発表しようとやっているうちに、制作した作品の数もいつの間にか100本近くになりました。紀行ものが私の定番のようになっていますが、これからは、地域社会性のあるもの、あるいは社会教育性のあるものを取り上げていきたいと考えています。

ビデオ撮影、編集に関わるハード、ソフト面の目まぐるしい変化には、我々老年人はなかなか付いていけない悩みもあります。

ビデオ制作の目的にもよりますが、何時も思うのは、編集技術だけでは良い作品は出来上がらないということ、何をどう撮るのが作品の良し悪しを決定づけるようです。

もう一つは、音響効果の問題があります。BGMの選定とナレーションの習熟、レベルアップが課題かと考えてます。

幸い、SVCクラブのよい環境と、よい指導者に恵まれていることは有難いことです。

今後は広く若手の人達の新規加入を得て、石川県立生涯学習センターを中核とする映像文化の更なる発展を願って止みません。

編集後記

石川県視聴覚教育協議会は、35年余りの有益な活動歴を誇ってはいるが、機関紙の発行は残念ながらありませんでした。県の補助金、市町村の負担金に支えられた協会は、皆様に事業報告をする責任や、日進月歩のメディア情報等を共有し向上に努めなければならないことから、このたび関係者の協力により、機関紙「視聴覚いしかわ」を発刊することとした。創刊できたことを皆様と共に喜びたいと思います。

今後とも皆様のご理解と支援をお願いいたします。

(松尾 記)